

2024年12月1日

府中病院は新しく生まれ変わります



府中病院のさまざまな情報をお届けします！

登録医の先生方用

府中病院
ホーム
ページ



回復期・慢性期



府中病院

(民営)

※府中病院をリニューアル

地域包括ケア、回復期リハ

167床 ※最終
80床 (2024年12月1日時点)

急性期

泉大津急性期
メディカルセンター

(公設民営)

高度急性期、急性期

300床

周産期・小児

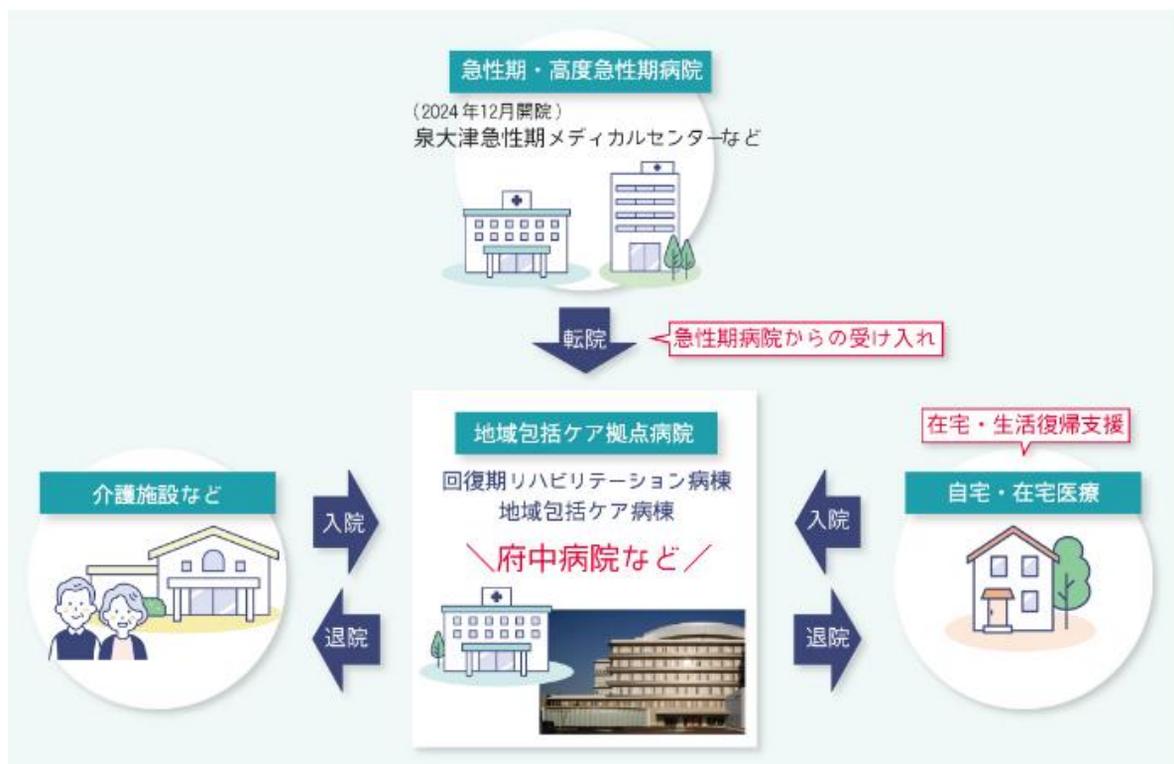
泉大津市立周産期
小児医療センター

(公設公営)

周産期、小児 など

82床

府中病院の役割



- 不安なときにいつでも受診ができるかかりつけ外来医療体制
- 急性期治療を経過した患者さんへ在宅復帰に向けた治療やリハビリを提供
- 自宅や施設入所からの高齢者救急を受け入れる体制
- 地域の健康を支えるリハビリ機能
- 地域の生活を支える在宅支援機能
(訪問診療・訪問リハビリ、訪問看護・訪問介護は法人関連施設と連携)
- 地域の生活支援や介護相談などの相談機能体制

特徴・設備

透 析	74床
手術室	4室（うちアイセンター3室）
在 宅	在宅療養支援病院 （訪問診療・訪問リハビリ、訪問看護・ 訪問介護は法人関連施設と連携）
設 備	CT・MRI・X線透析装置・X線一般撮影・ 超音波装置・心電図・血圧脈波検査装置（ABI）・ 骨密度測定装置・MELT z（リハビリロボット）など

診療科（予定）

内科／肝臓内科／糖尿病内科／リハビリテーション科／
泌尿器科（透析センター）／眼科（アイセンター）／訪問診療

内科

主に急性期治療を終了し病状が安定した患者さんに対して、在宅復帰まで継続した治療の継続やリハビリテーションを含めた慢性期医療を担います。高齢者特有の病気を十分に理解し、ひとつの病気の症状だけにとらわれず、患者さんの生活の質をより良く保つために支援します。他の診療科や地域の医院の先生方とも密接に連携し、病気の予防・治療から介護の問題までを総合的・包括的に治療して、高齢の方が自分らしく、健やかに充実した生活を送ることができるよう支援していきます。

糖尿病内科

糖尿病を中心に生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、肥満症など）の治療をおこない、合併症進展防止および予防に取り組んでいます。医師（日本糖尿病学会認定専門医、指導医）、糖尿病療養指導士を含む看護師、管理栄養士、薬剤師によるチーム医療をおこな

い、日常生活における食事療法や運動療法、必要に応じた薬物療法を継続されるようサポートします。

眼科（アイセンター）

白内障手術においては一般的症例から難易度の高い症例まで対応します。屈折矯正手術でも使用できる先進医療機器であるフェムトセカンドレーザーも導入し、安全性と正確性が格段にアップした環境で多焦点眼内レンズにも対応します。また、南大阪地域では唯一エキシマレーザーを導入しており、角膜ジストロフィーに対する治療的角膜表層切除術にも対応します。硝子体手術全般（黄斑円孔・黄斑上膜・増殖糖尿病網膜症・硝子体出血など）も多数対応し網膜剥離、急性緑内障発作、術後眼内炎、網膜動脈閉塞、眼外傷など、緊急を要する紹介症例には迅速に対応します。

肝臓内科

南大阪地区は肝炎ウイルス汚染率が全国的にも高い地域の一つとして知られています。慢性ウイルス性肝炎に対する薬物治療や肝硬変の合併症に対する治療、肝細胞がんの早期発見と泉大津急性期メディカルセンターとの連携による治療を行っていきます。また、近年増加しつつある脂肪肝からの肝硬変、肝細胞がんに対しても適切な運動・栄養指導をおこないます。

泌尿器科

慢性腎臓病の方に対し透析予防チーム（医師、看護師、管理栄養士など）として病期分類に応じて食塩制限およびタンパク制限などの食事指導、運動指導、その他生活習慣に対する個別指導や必要に応じた内服治療、また年令を重ねるにつれて生じる排尿問題（排尿困難や頻尿、尿失禁など）で困られている前立腺肥大症や過活動膀胱の内服治療をおこないます。

泌尿器科（透析センター）

腎不全の方は本来尿中に排泄されるべき尿毒素が体内に蓄積するため放置すると生死にかかわります。泌尿器科（透析センター）では、体内から血液を取り出し機械で血液中の尿毒素を除去する血液透析と腹腔内に透析液を貯留して尿毒素とともに取り出す腹膜透析をおこなっています。

透析治療に必要なアクセス手術（内シャ

ント手術や腹膜透析カテーテル留置術など）にも対応しています。透析患者さんは種々の合併症を持たれていますので、他科や泉大津急性期メディカルセンターの協力を得て総合的に患者さんのQOL（生活の質）を中心に考えた、より良い治療を目指します。

リハビリテーション科

病気やけがにより生じた神経系や筋骨格系の異常のために、移動や身の周りの動作、コミュニケーション、摂食嚥下などが障がいされた患者さんに対し、失われた機能の回復をめざして残された機能を最大限に引きのばす治療を行い、患者さんが住み慣れた地域に戻っていただくための援助をおこないます。



【リハビリロボット（MELTZ）】

脳卒中患者さんのためのリハビリロボットを導入します。AI搭載により、神経の再学習をアシストし、手指の麻痺回復を目指します。

病棟の紹介

地域包括ケア病棟

在宅復帰をめざす方の治療と支援をする病棟

ご自宅や施設で体調が悪くなった方や急性期治療が終了したものの退院後の生活が不安な方、もう少しリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰をめざす方はどなたでも受け入れできる病棟です。疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。

回復期リハビリテーション病棟

集中的なリハビリテーションを提供する病棟

脳卒中などの脳血管疾患や大腿骨や脊椎などの骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れます。多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供し、無理のない早期の在宅復帰をめざします。関連施設や地域の病院、施設などと連携し、退院後の生活を支援します。

地域連携・在宅療養支援センターの紹介

地域連携・在宅療養支援センターでは、患者さんとご家族、地域のみなさんが安心して治療に専念できるよう、また療養生活における不安や心配ごとを、各専門分野のスタッフと一緒に考えていく窓口です。

どのような内容でもお気軽にご相談ください。

病気や療養上の不安、
知慮の相談

介護保険の申請方法や
社会保障の利用や手続きに
ついて

医療安全や病院全般に
対するご意見

がんに関する情報や治療と
仕事の両立の相談

転院・在宅医療・訪問看護
の相談

誰に相談していいかわから
ない
相談相手がいない

現在の状況・スケジュール

2023年度

2024年2月現在
380床

- うち
- HCU16床
 - ICU4床
 - 地域包括ケア病棟35床
 - 回復期リハビリテーション病棟26床

＼ 全館運用中 ／



2024年度

2024年12月1日
80床にて開院

- 地域包括ケア病棟40床
- 回復期リハビリテーション病棟40床

＼ 南館・東館にて運用 ／



2025年度

2025年冬頃
167床にて開院

- 地域包括ケア病棟78床
- 回復期リハビリテーション病棟73床
- NASVA病棟16床

＼ 西館にて運用 ／



無料送迎バスのご案内

※泉大津駅発着場は西口（海側）ロータリーです

時間	府中病院 発		泉大津駅 発	
8	—			40
9	10	50	20	
10	30		00	40
11	10	50	20	
12	30		00	40
13	10	50	20	
14	30		00	40
15	10	50	20	
16	—		00	

※和泉中央駅発着場は一般乗降場です。

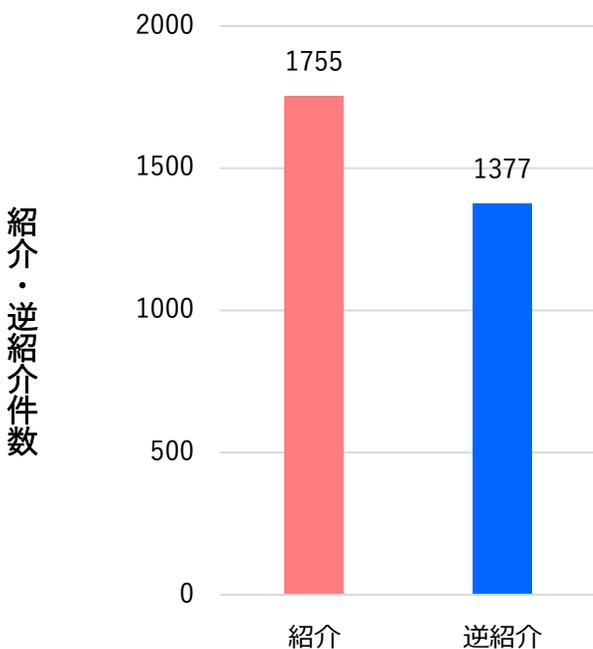
時間	府中病院 発	和泉中央 駅 発
8	—	30
9	5	30
10	5	30
11	5	30
12	5	30
13	5	30
14	5	30
15	5	30
16	5	30

※日祝日の運行はいたしていません。
 ※交通事情により遅れることがございますのでご了承ください。
 ※府中病院発着場は西館正面玄関前です

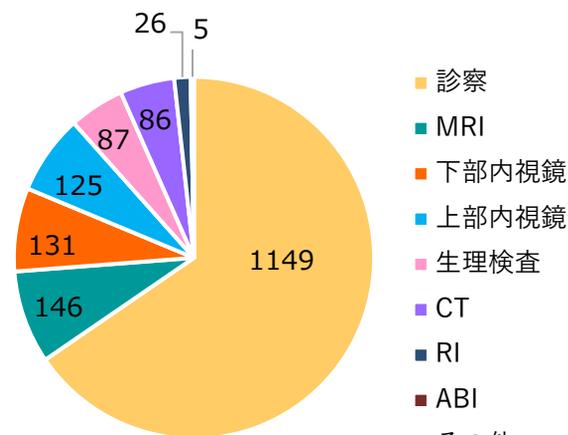


にこまる

紹介実績 〈2024年8月〉



紹介実績件数



ねっとわーく Vol.251

発行責任者：院長 竹内 一浩
 編集責任者：患者支援・地域連携部 家口 尚
 編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子
 〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号
 TEL：0725-40-2147 FAX：0725-40-2148
 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147
 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現
 地域と職員と共に栄えるチーム
 Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして
 チャレンジします。
 3つのベストにチャレンジします。